

なぜ？繰り返される

管理者 太田 さとみ

北海道のとある施設で、職員が重度の知的障がい者をパイプ椅子で叩くという虐待があり、それが日常化していたことがニュースで流れました。「またか」と思い、「もしかしたら、私の息子は叩かれる側になるかもしれない」と考えたら気持ちが悪くなる思いがしました。度重なる障がい者虐待はなぜ起きるのか。職員の資質のせいにするわけにもいかない。原因究明はしっかりと行い説明してほしい。私の息子の様に、相手に自分のことを伝えることや言葉を理解することが難しい障がい者は、訳が分からないいからと、虐待を受けるようでは余りにもつら過ぎる。その様な人生を送らせるために親は育てているのではない。このような問題が障がい者福祉について回ると思うと、

事業所を持っている法人としてどのような福祉像を目指すのかが言わずもがなです。人として当たり前にならなくてもいい。そう願うことは叶わぬ夢ではないはず。親が居なくなっても笑って過ごすことの出来る人生を歩んでもいい。その願いだけで今、職員として最善を尽くしたいと強く思っています。言い換えれば、その思いをもって私たちは東日本大震災後、避難先として選択したこの場で「親亡き後の施設」を作る為に北海道におります。障害を持って生まれた子が笑って生活を送ることが出来る様に、幸せになれると実感できるまで、私たちは力を結集し子供の幸せを勝ち取りたいと思えます。

11月の予定 5日 工賃支給日 16日 避難訓練 21日 お茶会 25日 工賃会議・支援会議

北海道は、コロナ警戒レベルが「3」に引き上がり、今までの感染の予防対策と合わせて飲食等に伴う人が集まる場所での注意喚起がされました。慣れて来ていたところでの感染症拡大でしたので改めて、事業所も今まで以上に気を引き締めて、感染予防に徹したいと思います。

新型コロナウイルス 注意すべき5場面 ※道庁の資料を基に作成
1 飲酒を伴う場面 2 仕事後や休憩時間 3 集団生活
4 激しい呼吸を伴う運動 5 屋外での活動の前後

由仁町インドア花いっぱい元気作り事業が10月で終了しました。5か月間、月替りで事業所玄関を飾っていただき、やすらぎと元気をいただきました。
※ありがとうございます※



松茸が10年ぶりの豊作だそうです。そう言っても、なかなか庶民の口には届きませんが…。そんな中、事業所のヒマラヤ杉の根元に60本ものきのこがよきよきと生えてきました。見るからに「毒」きのこなのですが「松茸だったらな」と思いつつ、毒きのこを眺めています。
▼10月末、北海道は見事な紅葉に囲まれています。休日、まだ知らない道でのドライブはどこまでも真っ直ぐな道と紅葉に囲まれ、絵葉書の一部になったような錯覚すら覚えます。

風だよの



# バーベキューをしました！



途中で雨が降って来たので食堂に移動しましたが、炭火で焼いたお肉は柔らかくておいしかったです!!

(なんと、今年はステーキ肉も登場!!(°Д°))



## ちゃかい ごう かぼん お茶会 (豪華版!)

今月の茶会はハロウィンバージョン!!  
ボリュームいっぱいのお昼とおやつを楽しみました(°▽°)



とても暑かった夏も終わり、最近朝、霜が降りるようになりました。

秋が駆け足で過ぎ去ろうとしています。

長い冬に入る前の、短い秋の景色を楽しんでいます。

